

LINK-J、フランスのライフサイエンス団体 Eurobiomed と MOU を締結 ～ 日仏間のライフサイエンス領域におけるオープンイノベーションと人的交流を促進 ～

ライフサイエンス領域の新産業創造を目指したプラットフォームを運営する一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(理事長:岡野栄之、以下 LINK-J)と、フランスのライフサイエンス団体である Eurobiomed(ユーロバイオメッド、代表:Xavier Tabary/グザビエ・タバリ、以下 EBM)は 2017年6月19日、米国カリフォルニア州サンディエゴにて、日仏間でライフサイエンス領域におけるイノベーションを創出することを目的とした MOU(提携に関する覚書)を締結しました。

今回締結した MOU により、LINK-J と EBM は今後 5 年間にわたり、会員への相互サービス提供、人材交流や情報交換、プログラムの共同実施などを通じて、日仏間のライフサイエンス領域の事業化・産業化を後押しし、オープンイノベーションによる新産業創出を促進して参ります。なお、今回の MOU 締結は、LINK-J が昨年 6 月に MOU を締結したサンディエゴを拠点とするライフサイエンス団体である BIOCOCM(バイオコム)の紹介により実現したもので、MOU の調印は、BIOCOCM のプレジデント兼 CEO であるジョセフ・D・パネッタ氏同席のもと、BIOCOCM の本社で行われました。

記念すべき最初の交流機会として、2017年10月30日から11月3日までの5日間にわたり、LINK-J と BIOCOCM のメンバー有志が EBM およびマルセイユなどのライフサイエンス団体を訪問する予定です。

EBM は、マルセイユを拠点としてフランス南部で展開するライフサイエンス団体であり、2009年の設立以来、会員企業や研究機関に対して、イノベーション、ファイナンス、戦略的および事業的目標の構築と達成などの支援を行っています。会員として約 220 の法人を含め、合計 260 超が加盟しています(2017年7月現在)。



今回の LINK-J によるグローバルな提携は、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)ならびに BIOCOCM に続く 3 例目となります。LINK-J は今後も国内外を問わず、ライフサイエンス団体や、ライフサイエンス領域の大学・研究機関との連携を推進することで、日本のライフサイエンス・イノベーションの活性化を促進して参ります。



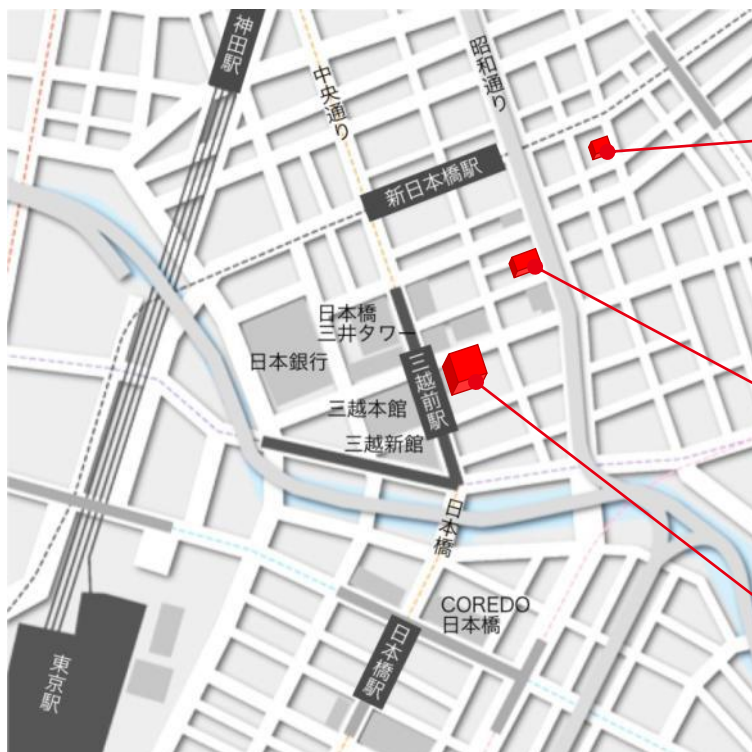
EBM 代表グザビエ・タバリ氏、BIOCOCM プレジデント兼 CEO ジョセフ・D・パネッタ氏、LINK-J 理事兼事務局長・曾山明彦

■ 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)について

LINK-J は、三井不動産株式会社とアカデミア有志が中心となって 2016 年 6 月に設立した一般社団法人です。医薬関連企業が集積する日本橋エリアを拠点に、産官学連携によるライフサイエンス領域でのオープンイノベーションを促進し、新産業創造を支援することを目的としています。医学をはじめ、理学や工学、ICT や人工知能といった新たなテクノロジーなど、あらゆる科学の複合領域であるライフサイエンス領域において、分野を超えた内外の人的交流・技術交流を促進していきます。詳細は WEB サイトをご覧ください。<http://www.link-j.org/>

■ 日本橋ライフサイエンス拠点について

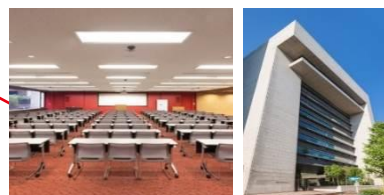
三井不動産株式会社は日本橋において、以下のライフサイエンス拠点を整備しています。



日本橋ライフサイエンスビルディング2
(31 VENTURES)



日本橋ライフサイエンスビルディング



日本橋ライフサイエンスハブ

